

脳神経外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	慢性硬膜下血腫被膜の血管新生における PI3K-Akt-p70S6K シグナル伝達系の役割
研究機関名	愛知医科大学医学部
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	脳神経外科
研究責任者	特任教授 大須賀 浩二
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	慢性硬膜下血腫は、軽微な頭部外傷後の高齢者において発生し、頭蓋内に徐々に血腫がたまり麻痺などを発生する疾患です。その発症や進行過程において、血管新生や炎症性サイトカインとの関与が近年の研究で報告されている。血管新生を誘導する PI3-Akt 経路関連蛋白やそれらの刺激因子となる炎症性サイトカインの解析を行い、慢性硬膜下血腫の臨床経過との関連について検討する。それに基づき新たな治療法の開発を目的としています。
対象となる患者さん	【慢性硬膜下血腫】と診断された患者さん
研究の方法	採取した血腫被膜を用いて血管新生に深く関与する蛋白の発現をウェスタンブロッティングで検討する。また、免疫組織染色にてこれらの血管新生に関与する蛋白質の発現部位につき検討する。更に、血管新生に深く関与している VEGF の血腫内での濃度を ELISA にて測定し、シグナル伝達系の活性化の程度との相関関係についても解析を行う。以上の結果について、診療情報も収集し、その後解析等を行い、臨床経過との関連を検討する。 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できること並びに入手・閲覧を希望する場合の手続方法については下記にご連絡ください。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2022 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	試料：血腫被膜と排液された血腫 等 情報：年齢、性別、頭部外傷原因、手術前の意識状態、術後経過 等
外部への試料・情報	なし

の提供	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部脳神経外科講座 担当者：特任教授 大須賀 浩二 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22318）